

(2) 授業の概要

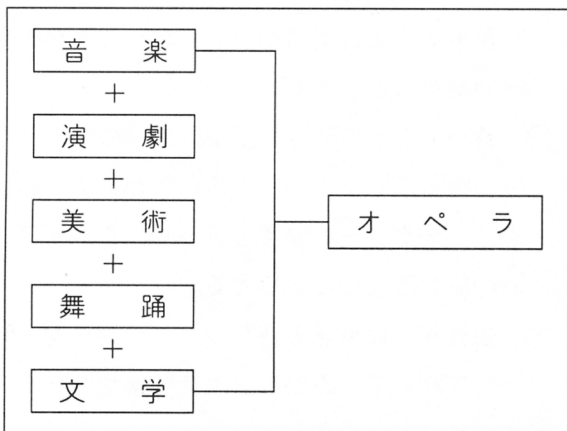
〈検証授業Ⅰ〉

検証授業Ⅰは、総合芸術であるオペラについての理解をする時間である。また、オペラの興味・関心の喚起はもちろんのこと、この題材の全てを決定する導入の段階である。まず、事前に曲のタイトルや説明もなく、オペラ「アイダ」の第2幕第2場の「凱旋を祝う大合唱」を聴かせ、情景を想像させた。次のような内容であった。

- ・ 人類、生命の誕生
- ・ 船の出航
- ・ 身分の高い人の結婚式
- ・ 競馬場に馬が入ってきたところ
- ・ 兵隊さんの行進
- ・ サッカーの試合の応援 など。

生徒は、荘厳な音楽に驚き、いろいろな物音に耳をすまし、想像をめぐらせ聴くことに集中していた。その中でも、行進のリズムであることに着目した生徒がいたり、サッカーでの試合に流れる音楽だと気づいたりする生徒もいた。次に、それぞれの要素についてとらえさせるために提示する曲の選択も、生徒が興味・関心を持ちイメージしやすい魅力あるものを選択した。

[オペラの構成要素]

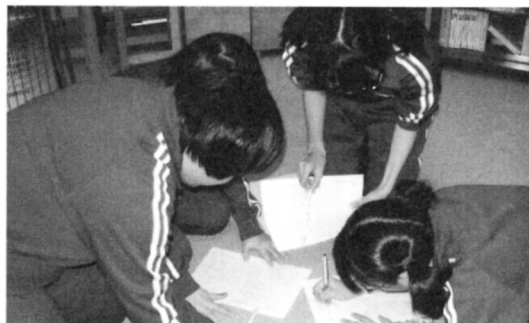


[要素を説明する曲]

- ① 独唱「運命の力」教師演奏
- ② 合唱「野ばら」ウィーン少年合唱団
- ③ 舞踊「白鳥の湖」オペラ座バレエ団
- ④ 演劇「魔笛」スカラ座

5つの要素からオペラができていることを理解し、そのオペラを見ることに興味・関心が高まってきたところで、導入時に聴いた「凱旋の大合唱」の場面を見た。この場面が全体のどのような場面かを知りたい、登場人物についての理解を深めたいという気持ちを高めたところで本時が終了した。生徒たちは、オペラを難しいと思うより、オペラという芸術が様々な要素から成り立っているということに、興味・関心を高めることができた。

[グループでの原稿作成]



[生徒の原稿から]

この場面では、町の酒場でカルメーンが仲間たちとたむろしているところです。第一幕からはほぼ2ヶ月の時間が経っています。舞台の中央では、カルメーンがタンバリンを音高く鳴らしています。そのまわりでジプシーたちが、カルメーンの堂々とした歌声に合わせてフラメンコをおどっています。歌が進むにつれて、始めはぎこちなかったジプシーたちのおどしもカルメーンの魔法にかかったようにダイナミックになります。また、リズムがビズンビズン速くなり、圧倒的な盛り上がりを見せます。カルメーンの歌声は体の奥底まで響いてきます。